



ソーシャルスキルトレーニング絵カード

連続絵カード

小学生低学年版1 言動と反応の対比

A5版 45枚(3枚組×15)

1	どうしたら良いか分からない時には、周りの子や先生に聞いてみる。
2	いつも同じ子の失敗や弱点を言い立てるのは止め、気になるのなら解決の方法を伝える。
3	給食時、嫌いな食べ物を床に落としたりせず、先生と一緒に対策を考えてもらう。
4	友達のおもちゃを壊した時には、まずは謝り、その後どうしたら良いかを相談する。
5	思ったことをそのまま言うのではなく、相手が傷つかない言葉に言い換えて伝える。
6	共同での作業時は、自分だけではなく他の人の都合にも合わせて行動する。
7	テストの答えを見せてくれないのは意地悪ではなく、当たり前のことだと知る。
8	言われたことに腹が立っても、暴言や暴力ではなく気持ちや考えを伝えることで解決する。
9	意地悪で叩かれたように感じて、そうではない場合があることを知る。
10	係決めの時、自分と同じように他の子にも希望があることを知り、互いが納得できる方法を相談して決める。
11	「しずかにして」と注意してきた女の子に怒るのではなく「どうして そう言ったのか」を考える。
12	相手に不注意があっただけではなく、自分も注意しなければならなかったことを知る。
13	答えを間違えて×になっても、テスト用紙を破り捨てたりするのではなく、どうすれば良いのかを知る。
14	一番ではなくても怒らず、そういうこともあるのだと気持ちを切り替える。
15	大切な物もいつかは壊れることがあるのだと考え、気持ちを切り替える。